

合意に至った要因 加分は全体の2%程度

と約3万少に上り、増 は養殖や輸入も含める

で決定する見通し。 産政策審議会の分科会

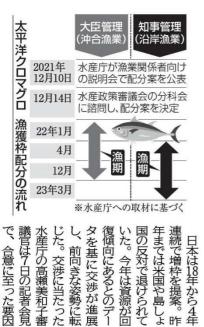
今回の会議は、

の国内の年間の供給量

### 静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。



めての増枠となる。 取り付けた。15年に現行の漁獲規制が導入されて以降、 で合意を維持。今回から議論に加わった国・地域の合意も 閉幕し、2022年から日本近海を含む中西部太平洋海域 とを正式決定した。今年はこれまで2回開かれた国際会議 太平洋クロマグロの資源管理を議論する国際会議は7日 大型魚(30歳以上)の漁獲枠を21年比で15%増やする

### 2021年12月8日朝刊

①見出しの口に当てはまる 数字を書きなさい。

)

②2022年から日本の太平 洋クロマグロの漁獲枠を増 やすという提案が認められ た理由は何か。

# 回復 規

マグロの管理区域 増枠が決定した 取れた天然ものは特に の資源管理に影響が出 議では成育途上で今後 費者に恩恵となる。会 頭への流通量増加や値

日本近海で

国際会議決定

し、前向きな姿勢に転 タを基に交渉が進展 国の反対で退けられて 年までは米国や島しょ 連続で増枠を提案。 昨 | てきていることを国際 復傾向にあるとのデー 日本は18年から4年 一今年は資源が回 る。太平洋クロマグロ は計5614少にな 2½で大型魚の漁獲枠 的にも認めてもらえ に関し「資源が回復し た」と述べた。 日本の増加分は73 けの説明会で22年の配

7」で据え置いた。 やすい小型魚は400

日に開く漁業関係者向 かが焦点。水産庁は10 漁獲枠をどう配分する 待望していた。今後は 都道府県や漁法ごとの 増枠は漁業関係者が 大する現行の特例措置 5%から17%に拡

47倍に換算した量を大 の10%を上限に、1・ 今後3年間、小型魚枠 ることでも合意した。 えられる措置を継続す 部を大型魚枠に振り替 も決定。小型魚枠の を3年間延長すること れる。世界各地に生息の中でも最高級品とさ 主要なマグロ

ロマグロが約3万17 の供給量は、太平洋ク る。日本は輸入や養殖 〇〇か、大西洋クロマ が推計した2019年 生産も盛んで、 資源管理を行ってい

③日本の太平洋クロマグロ の漁獲枠増は消費者にとつ てどんなことが期待できるか。

_			
4日本の太平洋クロマグ	ロの漁獲枠に関して、	今後の課題と考えら	られることは何か。

らウェブ会議形式で議

26カ国・地域が1日か 太平洋の島しょ国など 次会合。米国や韓国、 会(WCPFC)の年 部太平洋まぐろ類委員

年に繰り越す上限に関 漁獲枠の未利用分を翌 論していた。会議では、

組



## 静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。



回復

規

#### 2021年12月8日朝刊

①見出しの口に当てはまる 数字を書きなさい。

15

②2022年から日本の太平 洋クロマグロの漁獲枠を増 やすという提案が認められ た理由は何か。

(例)資源が回

知事管理 太平洋クロマグロ 2021年 水産庁が漁業関係者向け 12月10日 の説明会で配分案を公表 12月14日 水産政策審議会の分科会 に諮問し、配分案を決定 漁獲枠配分の流れ 22年1月 4月

12月

し、前向きな姿勢に転

る。

太平洋クロマグロ

けの説明会で22年の配

今後3年間、

の10%を上限に、1・

23年3月

議官は7日の記者会見

加分は全体の2%程度

と約3万少に上り、増 は養殖や輸入も含める の国内の年間の供給量

で決定する見通し。 産政策審議会の分科会

今回の会議は、

水産庁の高瀬美和子審

交渉に当たった

取り付けた。15年に現行の漁獲規制が導入されて以降、 めての増枠となる。 で合意を維持。今回から議論に加わった国・地域の合意も とを正式決定した。今年はこれまで2回開かれた国際会議 太平洋クロマグロの資源管理を議論する国際会議は7日 、2022年から日本近海を含む中西部太平洋海域 (30計以上)の漁獲枠を21年比で15%増やする

初 国際会議決定



タを基に交渉が進展 連続で増枠を提案。昨日本は18年から4年 国の反対で退けられて 復傾向にあるとのデー 今年は資源が回 てきていることを国際 は計5614少にな 2½で大型魚の漁獲枠 的にも認めてもらえ た」と述べた。 に関し一資源が回復し 日本の増加分は73

※水産庁への取材に基づく

かが焦点。水産庁は10 待望していた。今後は 7少で据え置いた。 漁獲枠をどう配分する 都道府県や漁法ごとの やすい小型魚は400 増枠は漁業関係者が

日に開く漁業関係者向 の資源管理に影響が出 ることでも合意した。 えられる措置を継続す 部を大型魚枠に振り替 も決定。小型魚枠の を3年間延長すること 年に繰り越す上限に関 漁獲枠の未利用分を翌 大する現行の特例措置 5%から17%に拡

取れた天然ものは特に 費者に恩恵となる。会 頭への流通量増加や値 論していた。会議では、 らウェブ会議形式で議 26カ国・地域が1日か 太平洋の島しょ国など 次会合。米国や韓国、 部太平洋まぐろ類委員 (WCPFC) の年

れる。世界各地に生息の中でも最高級品とさ

ロマグロが約3万17 の供給量は、太平洋ク る。日本は輸入や養殖 〇〇か、大西洋クロマ が推計した2019年 生産も盛んで、 資源管理を行ってい

店頭への流通量増加や値下がりにつながる(という恩恵)。

③日本の太平洋クロマグロ の漁獲枠増は消費者にとつ てどんなことが期待できるか。

漁法ごとの漁獲枠をど

④日本の太平洋クロマグロの漁獲枠に関して、今後の課題と考えられることは何か。

組